

学級活動

生徒会活動

○ 学校行事

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立栗原中学校	対象となる主な学年	全学年
取組事例名	「学年を超えた縦のつながりを高める取組」		

◆ 生徒の実態及び取組を通して育てたい生徒像

生徒の実態	取組を通して育てたい生徒像
学校行事や集団での活動に意欲をもって取り組むことができ、生徒会活動による自治する力が高まってきた。一方で、相手を思いやった行動がとれず、トラブルが起っており、仲間との関係が希薄になっている。また、学校アンケートでは、「自分にはいいところがあります。」と応えた生徒は、75%であった。	上級生は、下級生を支えるリーダーシップを身に付け、下級生は、上級生を憧れの存在として、目標として取り組む意欲を高めさせる。また、集団が一体となって取り組むことで、相手を思いやる心を身に付けさせ、共感的人間関係を高めさせる。



◆ 取組の具体的内容

取組を実施する意図及びねらい
<ul style="list-style-type: none"> ・学校内の横と縦の繋がりを高め、共感的人間関係づくりを行うこと。 ・学校行事を更に充実させ、生徒が達成感を感じる行事にすること。 ・学校の伝統を引き継ぎ、栗原中学校の良さを継承していくこと。
取組の流れ・創意工夫・生徒の変容等
<p>○学校行事での取組（体育大会・文化祭）</p> <p>流れ・変容：年間を通して、1～3年生のそれぞれのクラスを“団”ごとに振り分け、練習を学級や学年だけに収めず、団として活動する場面を組み入れた。例として、練習日程等の提示に団での種目練習、団での合唱練習等を行った。また、練習を行う前に、各自が目標をもって、会がスムーズに進行できるよう、各クラスにリーダーを立て、事前にどのように指示を出すかなど、1時間の動きを確認して、臨ませた。</p> <p>生徒の変容：リーダーとして、積極的に声をかける生徒が増え、仲間との繋がりを広げることができた。また、先輩からの声かけや、合唱での手本を示すことで、上級生はより自覚をもち、下級生はより前向きに合唱に取り組むことができた。</p> <p>○学活での取組</p> <p>流れ：3年生は、3年間の自分の頑張りを振り返り、自分が進路に向けて、どのように取り組んだか、まとめた。その後、1、2年生に学活の授業で、その学級で同じ団の3年生が「どのようなことに取り組んで行くことが大切か」伝える場を設け、1、2年生の進路への意欲を高めさせた。</p> <p>生徒の変容：公立試験終了後に行うため、見取ることが難しい。</p>

◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）

<p>○体育大会・文化祭の事後アンケートでは、90%を超える生徒が肯定的に回答しており、「団の一員として自覚をもつことができた。」と回答した生徒の割合は80%を超えた。また、振り返りには、「3年生の姿をみて、3年生のようになれるよう、生活・授業面を改善していきたい」という記述が多くあった。</p> <p>●2学期末のアンケートでは、「学級で役立っていると感じる。」と回答した生徒の割合が72%で数値が下がっており、身に付けた力を、自己有用感に繋げることができていない。また、目標をもっている生徒の割合が66%で、数値を向上させることができなかった。</p>
